

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	作業療法
矢谷令子		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
<一般目標：GIO>					
作業療法に必要な一般的基礎知識、専門職員としての自覚を種々の学習体験および講義、討議を通して習得し、 在学中学習する科目への基本的理解を備えるものとする。					
<行動目標：SBO>					
1. VTRにみる臨床場面から作業療法の役割について話し合うことができる。 2. 「人間」について考えたことを友人と語り合うことができる。 3. 「自分」について考え、ある程度の「自分理解」を確認することができる。 4. 人間と生活、人間と作業、人間とコミュニケーションについて考え、クラスで討議することができる。 5. 作業体験を想起し、「作業」の作業療法適用について気づき、発表することができる。 6. 心身の機能に障害を持つということを疑似体験し、考え、工夫を感じたことについて話し合うことができる。 7. 「作業」を通してグループリーダーの体験学習をすることができる。 8. 作業療法の起源、歴史について学習し、概略記述することができる。 9. 作業療法の原理、核について学習し、概略記述することができる。 10. 作業療法の対象者、領域ごとへの作業療法の特徴について記述することができる。 11. 作業療法実践の手順について概略説明することができる。 12. 本科のチェックリスト記述を終了し、疑問点は質問し、正しい知識を習得することができる。					
回 数	授業計画又は学習の主題			SBO	
				番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	臨床場面の理解 人間理解 人間と生活、作業、コミュニケーション 作業体験想起学習 不自由体験学習 同上 リーダー体験学習 同上 作業療法歴史 作業療法原理・概略・核 チェックリスト学習 作業療法対象領域 作業療法実践の手順 チェックリスト学習			1	講義、VTR、討議
2				2,3	講義、討議
3				4	講義、討議、発表
4				5	演習、討議
5				6	発表
6				6	演習
7				7	演習、討議
8				7	発表
9				8	講義
10				9	講義、討議
11				12	討議、学習
12				10	講義
13				11	講義
14				12	討議、学習
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格・その他>			
教科書		作業療法学全書第1巻作業療法概論 日本作業療法協会編矢谷令子他 協同医書 2000年、¥3200 (+税) 作業療法実践の仕組み 矢谷令子・福田恵美子編 協同医書 2001年、¥3500 (+税)			
参考書		作業療法の源流 秋元波留夫他 三輪書店			
その他の資料		配付資料			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
修得チェックリスト 70%		①期間中の抄読レポート提出について			
提出物 30%		②第4回～8回については講義初日に紹介する。			